

来夏の「ぎふ総文」生徒実行委員

2期生、69人に委嘱

来夏に県内で開幕する「清流の国ぎふ総文2024」(第48回全国高校総合文化祭)生徒実行委員の2期生に県内30高校の生徒69人が委嘱され、16日に岐阜

市薮田南の県総合教育センターで委嘱式が行われた。堀貴雄県教育長が代表で岐阜高1年の加藤優奈さん(16)に委嘱状を手渡し「文化は人と人の触れ合いが基本。みんなの気持ちをぶつけてほしい」と呼びかけた。生徒を代表して恵那高2年の佐藤悠来さん(16)が「ぎふ総文を通じて岐阜の文化を広められるよう全力でやり切る」と決意を述べた。

総文祭は来年7月31日～8月5日、県内15市町で22部門が催され、生徒実行委員は企画・運営を担う。2



堀貴雄県教育長(左)から委嘱状を受け取る加藤優奈さん。岐阜市薮田南、県総合教育センター

期生は1期生41人とともに取り組む。

委員は早速、広報や国際交流など5委員会に分かれて活動。総務委員会では、バローホールディングスに

よる接客接遇研修があった。同社で従業員教育を担当する中村真理さんがおもてなしの基礎を指導し、19人が笑顔の作り方や発声方法を学んだ。(大堀瑠美)